

## 令和3年度第1回文化財保護審議会 会議録

- 1 日 時 令和3年4月16日（木）午後7時から8時まで
- 2 場 所 郷土資料館「けやき館」体験学習室
- 3 出席者 会 長 平山 和治  
副会長 塩島 清志  
委 員 池谷 功、大久保 伴季、川鍋 悦子、  
久保田 吉範、高橋 公江、古川 嘉勇、  
渡辺 和俊  
事務局 町田図書館長、上出文化財担当主査、  
谷亀図書係主任、北爪副館長
- 4 欠席者 会田 宏
- 5 議 題 (1) 郷土研修会実踏について  
(2) 郷土資料館事業について  
(3) その他
- 6 傍聴者 なし
- 7 配布資料 次第 資料1

図書館長挨拶

人事異動対象者挨拶

会長挨拶

### 議題(1)郷土研修会実踏について

平山会長 事務局から説明をお願いします。

事務局 新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑みて、実踏及び事業実施を半年ほど延期することを提案します。

古川委員 事務局案では2月実施となっているが、寒いのではないか。

平山会長 研修先を変えるということもありだと思う。

まずは、この状況下で実踏ができないため、9月の事業実施はできないということによろしいか。

各委員 (意見なし)

平山会長 その上で、一旦2月に延期するか、今年度の郷土研修会を中止とするかを決定したい。

塩島副会長 2年連続の中止も止む無しかも知れない。

久保田委員 延期するにしても日程を早めに決めてもらいたい。

池谷委員 実踏ができるかどうかで判断すればよいのでは。

平山会長 8～9月頃には実踏できるか判断できるのではないか。

### 議題(2)郷土資料館事業について

北爪副館長 ※郷土資料館事業について説明

### 議題（３）その他

平山会長 箱根ヶ崎の獅子舞だが、後継者不足が深刻な課題となっている。コロナが落ち着いてからになるが、文化財保護審議会、教育委員会、5地区の囃子連、獅子舞保存会とで意見交換の場を設けたい。

保存会の名称に「箱根ヶ崎」と謳っているが、もはや箱根ヶ崎地区だけで後継者を探すことは厳しく、町全体で探すべき状況である。

渡辺委員 後継者問題ということで、武蔵村山市の先生の例だが、小学校の生徒たちに働きかけて成功した事例もある。

平山会長 獅子舞保存会の代表には、動いていくことが大事であると話してある。箱根ヶ崎の獅子舞は途中で芝居が入るという特殊なものでもある。

事務局 教育委員会としても保存に向けての想いは同じである。そのためには皆さんの力が必要である。この審議会で継続して議論していきたい。

池谷委員 色々な団体で話し合っって協力していかないといけない。

閉 会